

喪失体験をした子どもたち

～ 周囲の大人が寄りそい、支えるために～

日時： 2014年 2月9日 (日)

時間： 午後1時～4時30分
(受付 12時30分～)

会場： コラッセふくしま
5階研修室 A・B
(福島県福島市三河南町1番20号)



泣かないように
がんばってるよ

どうしたら
いいか
わからない

昔に
戻れたら
いいのに

いつまで
がマン
できるかな…

自分より
親のことが
心配

わかってくれる
人がいない

東日本大震災からもうすぐ3年が経ちますが、いまだに震災は私たちの生活に大きな影響をおよぼしています。身近な人との死別・離別、ふるさとに帰れない、安心して外で遊べない、健康への不安など、子どもたちは様々な喪失体験をしています。それにより、集中力が落ちた、甘えるようになった、暴力的になった、いい子になりすぎる、などの変化が起こる場合もあります。

様々なものを失ってしまい大きな喪失体験を抱えた子どもたちには、どのようなサポートが必要で、私たちには何ができるのでしょうか。

親や教員、親戚や近所の人、そして子どもに関わる仕事や活動をしている方など、子どもの身近にいる人が、子どもの喪失体験にどう接し、どう支えることができるのかを、福島で子どもの支援活動に取り組む方々や、子どもを持つお母さんをお呼びし、皆様と一緒に考えます。講演会の後には、テーマごとの分科会を行います。

タイム スケジュール

第1部

- 13:00～13:45 子どもたちの喪失体験を理解する
NPO 法人子どもグリーンサポートステーション 西田正弘
- 13:45～14:00 喪失体験をした子どもを持つお母さんのお話
- 14:00～14:20 震災から3年目を迎える福島の子どもの声
東日本大震災中央子ども支援センター 中鉢博之氏
- 14:20～14:40 子どもたちの声・寄りそう大人の役割
チャイルドラインこおりやま 小笠原隼人氏
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～15:10 質疑応答

第2部

- 15:30～16:30 分科会

定 員：90名

参加費：無料

参加方法：NPO 法人子どもグリーンサポートステーション
までお申し込みください。

※お申し込み方法は裏面をご覧ください。
※人数確認のため事前申込をお願いしておりますが、当日参加も歓迎です。

お子様も一緒にご来場ください!

子どもプログラム同時開催

講演会中、小学生までのお子様を対象に、子どもプログラムを開催します。保護者の方が講演会に参加される間、スタッフや他のお友達と一緒におもちゃやゲームで楽しく遊んでいただけます。

子どもプログラム参加をご希望の場合、申込時にお子様のお名前・年齢・性別をお知らせください。



登壇者紹介

西田正弘

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション代表

28年間交通遺児、病氣遺児、自死遺児等を支援する民間団体（交通遺児育英会、あしなが育英会）に勤務。自殺者急増に対応して2000年から自死遺児のケアに取り組む。NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク立ち上げにも関わり、副代表として自死遺族の分かち合いの場づくりを全国に展開した。2007年から2011年10月まであしながレインボーハウスでチーフディレクターをつとめる。東日本大震災以降現地に入り津波で親を亡くした子どものケアにも取り組み、2013年2月NPO 法人子どもグリーフサポートステーション設立、代表に就任。東日本大震災中央子ども支援センター外部アドバイザー。

中鉢博之

東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口
主任コーディネーター
特定非営利活動法人ビーンズふくしま 理事

学生時代より一貫して、「地域の中での子どもの育ち」ということに関心を持ち続ける。大学卒業後は、福島でフリースクール設立に携わり、特定非営利活動法人ビーンズふくしまで、13年にわたり支援の現場や団体運営に携わる。震災後は地域コミュニティの再生を目指す「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」を立ち上げ、避難をしている子どもの支援を開始。2012年4月に東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口主任コーディネーターとして、福島県内の子どもに関わる支援者の支援、県外避難の子どもへの支援、福島県内の子ども支援の専門職の派遣・コーディネートの事業等を統括する。

小笠原隼人

チャイルドラインこおりやま 事務局長

大学3年次に母親が急死。深い喪失感と向き合う中で、グリーフサポートの重要性を感じ、卒業後は「葬儀相談員」を仕事として、3年間で全国から1231件の葬儀・お墓に関する相談を受ける。2012年8月より福島県に移住。震災や原発事故による喪失感からストレスを抱えた子どもたちに寄り添うため、18歳以下の子どもの気持ちを電話で聴く「チャイルドライン」のサービスを郡山市にて立ち上げ、事務局長に就任。2012年に子どものグリーフサポートのためのファシリテーター養成講座を受講。

分科会

分科会 A 子どもをもつ保護者の会

お子様を持つ保護者の方の分科会です。気楽におしゃべり感覚で、子育ての悩み、子どもに関する心配事などを共有しましょう。0歳～高校生までのお子様がいる保護者の方が対象です。

会場：小会議室 402B (4F)

分科会 B 大切な人を亡くした子どもを持つ保護者の会

死別による喪失体験をしたお子様を持つ保護者の方の分科会です。配偶者を亡くした親同士で、子育ての悩みや自分の気持ちを語り合い、わかちあう場です。0歳～高校生までのお子様がいる保護者の方が対象です。

※震災、病氣、事故、自死など、死因は問いません。

会場：501 研修室 (5F)

分科会 C 子どもに関わる支援者の会

教員、行政関係、子ども支援団体、ボランティアなど、子どもと関わる現場にいる方の分科会です。子どもたちとの関わりにおける悩みや、活動のなかで感じていることなどを共有します。

会場：研修室 A (5F)

分科会 D 子どものグリーフサポートファシリテーター プチ養成講座

喪失体験をした子どもを支援するボランティア（「ファシリテーター」）の養成講座を体験いただけます。子どもと一緒に遊び、子どもの「あのね」を聞ける人になるためのスキルを、グループワーク形式で学びます。

会場：研修室 B (5F)

参加お申し込み・お問い合わせ

- ①お名前
- ②お電話番号
- ③ご職業・ご所属
- ④分科会参加・不参加
- ⑤希望分科会（参加の場合）

以上を明記のうえ、メール、FAX、電話のいずれかにてお申し込みください。

ホームページからもお申し込みいただけます。

申込フォーム



メール info@cgss.jp

電話 022-796-2710

ホームページ www.cgss.jp

FAX 022-774-1612

本講演会後も、福島県内での子どものグリーフサポートを行っていく予定です。今回ご参加になれない方も、情報をご希望の方にはお送りいたします。ご希望の場合は、希望連絡先（電話・メールアドレス・住所等）をお知らせください。

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション

電話：022-796-2710

メール：info@cgss.jp

宮城県仙台市青葉区中央 3-6-7

東日本建物仙台駅前ビル 6階

会場地図



アクセス

- JR福島駅（東北新幹線、東北本線、奥羽本線）西口より徒歩3分
- 東北自動車道 福島西IC、飯坂ICから車で約15分
- 駐車場については、コラッセふくしまホームページをご覧ください (<http://www.corasse.com>)